

平成29年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート

提案者名：印西ふるさと案内人協会

提案事業名：みんなでつくる「木下街道膝栗毛」リターンズ

関連課等名：生涯学習課

班等名：文化班

担当者名：坂巻 暁子

内線等：545

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- ① 市民ニーズはある
- ② ある程度の市民ニーズはある
- ③ どちらかとも言えない
- ④ どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- ⑤ 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

市内の重要な遺跡、史跡及び有形無形の文化財を後世に継承していくため、指定された史跡などを広く市民に公開しているところだが、郷土の歴史に対して関心を持ちたいという市民ニーズがあると認識している。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

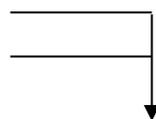
- ① 整合性がある
- ② 整合性がない
- ③ どちらともいえない

(具体的理由)

文化財の普及・活用に関し貢献した活動であり、整合性が図れている。

(3)法令上の問題について

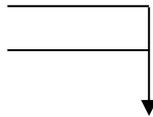
- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

(4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- ③ 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

平成元年度から20年度まで、木下街道膝栗毛評定委員会が同様の事業を実施していた。

(5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかというと効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

市内文化財の活用・周知を図るとともに、参加者の郷土の歴史への理解が深まる効果がある。

(6)実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

評定委員会による木下街道膝栗毛終了後、当団体が名称を引き継いで事業を実施しており、運営のノウハウがあるため、実現性・実行性は高い。

(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

公益的、社会貢献的な事業であること、また、市内文化財の活用・周知が図れることから、市の事業としての妥当性は認められる。

(8) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

歳入、歳出ともに特に問題がないと思われる。

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

前述のとおり、木下街道膝栗毛を当団体が引き継いで実施してきた実績は評価できる。協働での実施にあたっては、団体が中心となり、案内ボランティアの育成や関係団体との協力体制を築いていただきたい。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというところ取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

市民の郷土の歴史に対する関心が深まることが期待できるため、文化財の保護・活用という観点からも、協働で事業を実施する意義があると考えます。

